



石橋春雄議員
(創匠の会)



籠部田地先の道路改良工事の進展

問 国道126号交差点から県道八日市場山田線へ結ぶ籠部田地先の道路改良工事が中断している。レストラン・ガストが解体され用地交渉が進んだかと期待したが動きがない。進展はないのか。

答 「建設課長」 市道に認定されているが、整備は千葉県が事業主体となる。現在工事の予定はない。市としても事業実施に向け働きかけていく。

問 ガストが解体されたときに働きかけをしなかったのか。

答 「建設課長」 海匠土木事務所には伺っていない。

LPガス災害対応バルク設備導入

問 災害が発生すると電力が途絶える危険がある。災害に強いエネルギーがLPガスと言われる。ガス発電機を利用して避難所となる生涯学習センター等の空調、発電、照明、炊き出し給湯等に対応できる。

全国で経済産業省の2分の1の補助を活用した市町村、病院、福祉施設が1,600か所ある。災害だけでなく、日常生活にも使える防災施設整備促進を進めていただきたい。

答 「市長」 災害における避難所の電力確保は大きな課題である。安定稼働が見込める設備であることから、先進事例について調査研究してまいりたい。

匠瑳ブランドの開発

問 オリーブの栽培やどぶろくの製造などが注目されている。匠瑳ブランドや特産品の開発で匠瑳市を元気にしていただきたい。

答 「農林水産課長」 オリーブの栽培状況は、面積1・3ha、420本植栽している。

「商工観光課長」 どぶろくの原材料であるお米は有機栽培であることから、状況によりお米の取れ具合が少なかつた。製造を来年の年末を目標にしている。

松山清掃工場の解体と中継施設

問 解体工事が6億3千万円で落札されたと報告があった。令和4年度に始まる予定だった中継施設整備事業も動き出した。令和3年3月の匠瑳市ほか二町環境衛生組合の企業債償還額と財政調整基金はいくらか。

答 「財政課長」 企業債の償還はなし、財政調整基金は4億2千万円。

問 銚子市清掃センターの解体費用の財源内訳はどうなっているか。

答 「環境生活課長」 解体費が8億5千万円、交付税措置額を控除した3億8千万円を銚子市が1億5千万円、旭市が1億5千万円、匠瑳市が7,600万円を負担する。



伊東一成議員
(匠風)



地方自治体「持続可能性」分析レポートについて

問 匠瑳市が前回に引き続き消滅可能性都市として分類されたことについて、市としてどのように受け止めているか。

答 「市長」 本市については、社会減対策が極めて必要、自然減対策が必要とされており、貴重な分析結果であると受け止めている。

分析レポート結果を参考として、現在進めている第3次匠瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に生かし、人口減少対策に取り組んでまいりたい。

子育て支援について

問 子育て世代の住宅取得や家賃に対して補助金を給付しては。

答 「市長」 結婚新生活応援事業や転入者マイホーム取得奨励金事業を実施し、子育て世帯の住宅取得を支援している。

提案の補助事業については、匠瑳市子育て支援対策委員会の中で、近隣の子育て支援対策の調査と併せて協議を行ってまいりたい。

問 乳幼児に紙おむつを給付しては。

答 「市長」 前述の匠瑳市子育て支援対策委員会において、旭市が実施しているおむつ券の配付を含む県内の子育て支援施策の実施状況や必要な予算措置等を確認するなど情報の共有を図っており、今後も継続的に協議を行っていく。

新規就農について

問 新たに就農を目指す者に対する市の支援について伺う。

答 「市長」 スキルアップを目指す新規就農者に対して、農業後継者新規就農支援助成金を交付している。

また、市ホームページに新規就農者・就農希望者向けの就農相談や知識、技術の習得、補助事業等の支援制度の役立つ情報を公開するとともに、市公式Xを活用した情報発信を実施している。

橋梁の維持について

問 直近の橋梁点検の結果について伺う。

答 「建設課長」 点検の判定は、橋梁の健全性の判定区分を1から4に分類し、判定区分の数字が小さいほど健全性が高い状態となる。

直近の令和3年度に実施した管理施設数204橋の定期点検の結果は、1判定が151橋、2判定が51橋、3判定が2橋であり、4判定はない。